

会 議 録

会議の名称	平成 26 年度第 4 回茨木市文化振興施策推進委員会 文化振興ビジョン策定専門部会
開催日時	平成 26 年 10 月 24 日（金） （午前・ <u>午後</u> ） 1 時 00 分 開会 （午前・ <u>午後</u> ） 3 時 00 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
議 長	出口 正之（国立民族学博物館民族文化研究部教授）
出 席 者	森 隆男（関西大学文学部教授）、木村 光佑（茨木市美術協会会長）、 松本 雅裕（公益財団法人茨木市文化振興財団理事長）、山野 寿（一般 社団法人茨木市観光協会会長）、安藝 しのぶ（公募市民）、後藤 恵子 （公募市民）【6 人】
欠 席 者	栗本 智代（大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所主席研究員）【1 人】
事務局職員	大西 稔（市民文化部長）、原田 茂樹（市民文化部理事）、小田 佐衣子 （市民文化部副理事兼文化振興課長）、庄田 哲也（文化振興課長代理）、 辻田 新一（文化振興課主幹）、戸田 佑也（三菱 UFJ リサーチ&コンサル ティング株式会社）【6 人】
開催形態	<u>公開</u> ／非公開
議題（案件）	○今後のスケジュールについて ○茨木市文化振興ビジョン素案について
配布資料	(1) 次第 (2) 配席図【資料 1】 (3) 説明資料【資料 2】 (4) 参考資料【資料 3】

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1. 開会 本日は公私何かとお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 ただいまより、茨木市文化振興施策推進委員会 文化振興ビジョン策定専門部会を開催する。 本日の会議では、前回の会議でご指摘、ご意見頂いた部分について審議をいただきたいと存じます。よろしくお願いします。 それでは、委員長、よろしくお願いします。
委員長	2. 会議の運営等について それでは、会議次第に従って議事を進めさせていただきます。 なお、会議の終了時刻は遅くとも午後3時頃を予定しているので、ご協力のほどよろしくお願いします。 本日の委員の出席状況の報告を事務局からしていただく。
事務局	会議については、委員会規則第6条第2項により、委員の総数の2分の1以上の出席がなければ会議を開くことができないが、本日は7名の委員が出席されているため、会議は有効に成立している。 なお、栗本委員はご都合により欠席と伺っている。
委員長	それでは、議事の進行にあたり、これも毎回のことではあるが、議事の公開についてお諮りしたい。事務局から説明をお願いします。
事務局	会議の公開について説明する。本市では、審議会等の会議は個人に関する情報を審議する場合等を除き、公開を原則として、審議会等に諮った上で決定することとしている。また、審議に関して提出された資料についても、審議会等の同意を得て傍聴人に閲覧、配布することができるとしている。
委員長	ただいま、事務局から会議の公開についての説明があった。今後、非公開とすべき案件が発生した時には会議の非公開を決定することとし、それまでは原則に基づいて会議は公開として、資料についても傍聴者への閲覧、配布を許したいということで提案したい。ご異議はあるか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	(異議なし)
委員長	それでは、異議はなかったものと認めるので、本日の会議についても公開とする。傍聴者がおられれば、ご入室いただいて結構である。
	(傍聴者入室)
委員長	続いて、会議録及び会議資料の公開についてお諮りしたいと思う。事務局から説明をお願いします。
事務局	会議録及び会議資料の公開について説明する。会議終了後は会議録の作成とその公表に務めているところであり、前回もご承認いただいたように、委員のみなさまからの意見については、「委員」等の記載により、氏名を出さずに公表したいと考えている。
委員長	ただいま、事務局から会議録及び会議資料の公開についての説明があった。会議録に関する事項については公開とし、各委員からの意見についても「委員」等により、固有名詞を除いた形で公表させていただきたいと思う。ご異議はないか。
	(異議なし)
	3. 議事 ○今後のスケジュールについて ○茨木市文化振興ビジョン素案について
委員長	それでは、本日の案件の審議に入りたい。議事内容について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(配布資料の確認後、今後のスケジュールについて説明) 本日が第4回の会議となる。最終の確認をいただいた上で、パブリックコメントを11月4日から12月5日の1か月にて実施する。 その後、事務局でこれをまとめて修正案を作成し、委員長と調整した上で12月の第5回予定では12月19日の委員会で報告する。その後、来年2月頃に印刷物として発行する予定である。 続いて、ビジョン素案について説明する。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	まずは第1章から第3章まで説明させていただく。概ね内容や文章の構成は変更していないが、図表等について一部修正している。 （ビジョン第1章から第3章まで読み上げ）
委員長	本日の審議を踏まえて、パブリックコメントを実施するので、文言の修正等なにかあればいただきたい。
委員	7ページについて、「伝統資源」というのはなじまないのではないか。「伝統文化資源」ではどうか。また、7ページの本文が8行にわたっており、やや長い。もう少し分けた方がよい。 本文中では、作品名を二重鍵括弧、引用文を一重鍵括弧で括るのが原則である。 10ページの「京都・大阪にはない地域独自の文化」という表現が気になる。もっと具体的に地域の独自性を書いた方がよいのではないか。
委員長	一言で上手く言い表すことはできないか。
委員	他の市にはない具体的なものについて文章があるとわかりやすい。
委員長	そこは一任いただきたい。あるいは、地理的条件は第2章の冒頭で入れる方がよいかもしれない。
委員	京都・大阪を引き合いに出さない方がよいのではないか。
委員	大阪、京都から見れば茨木市は通過点でしかない。京都・大阪は省いた方がよいのではないか
委員	茨木は神社もお寺も多いが、京都・大阪と張り合うことはないだろう。
事務局	京都、大阪を取り、茨木市独自の地域文化に触れるようにしたい。
委員	地域独自の文化としては、茨木カンツリー倶楽部の歴史は長い。市歌にも歌われている。ゴルフが地域文化と言えるかはわからないが、こうして市歌にも歌われているものは他にない。独自の文化として関わってくるのではないか。倶楽部自体も文化事業を市民に働きかけるという信念がある。これほどのゴルフ場は大阪・京都にはない。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	ご指摘いただいたのは、ゴルフをスポーツとしてではなく、文化として見るということに踏み込むということによいか。
委員	日本で二番目に古く、単なる営利企業のゴルフ場ではなく、文化的な事業を市民に提供するということが柱になっている。
委員	現在、団体は一般社団法人となっており、文化的な社会貢献活動に取り組んでいる。
委員長	前回もご指摘いただいたが、事務局としてどのようにビジョンに反映すればよいか、あまりよい考えが浮かばなかった。木村委員からアイデアがあればいただきたい。
委員	どのようにビジョンに入れていくかは別として、文化事業としてこのような事例があることを事務局にお示した。
委員	14 ページにて、文化芸術活動を行うことができる「場」がたくさんあると謳っているが、市民会館建替についてしか言及されていない。下の図表には多くの施設が載っているので、本文中でも2，3の施設について言及してはどうか。
委員長	ご指摘ありがとうございます。
委員	民間施設はここでの施設には含まれないのか。南茨木に有名なライブハウスなどがある。
委員長	民間施設を含まないわけではないが、営利団体のものは難しい。具体的な施設名ではなく、「官民それぞれの施設と活用していく」といった表現にするという判断はありえる。
	続いて第4章、第5章について、事務局よりご報告いただきたい。
事務局	前回の委員会にてさまざまなご指摘をいただいた。 資料3は前回の専門部会でいただいた意見への反映を整理している。こちらにも参考にしていきたい。 大きな点としては、第4章でテーマごとに施策イメージを記載するようにしている。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	(ビジョン第4章から第5章まで読み上げ)
委員長	細かな文言でもよいのでご指摘があればいただきたい。
委員	16 ページの茨木童子の受入れに関する文章の流れが長く、わかりにくい。
委員長	一文が5行以上に渡る箇所については修正するようにしたい。
委員	長期間のビジョンなので仕方がないことかもしれないが、18 ページの人材育成について、すぐに人材を発掘するくらいの意気込みを示した書きぶりでもよいのではないか。
委員長	具体的にどうすればよいか。
委員	核となる人材は、育成するというよりすでに各地域にいるのではないか。10 年経てば誰かが育ってなんとかしてくれるという他力本願なようにも受け取れる。
委員長	表現は検討するが、すでにご指摘のような人材が地域にいることを前提に、これを発掘していくといった表現を盛り込む。
委員	能動的にすぐに取り組めるところはすぐに動くべきである。
委員長	人材がいらないということではなく、育ってきているが見過ごしているところがあるという指摘でよいか。 本文で記載されている最後の3行の表現では不足するということであれば、追記を考えたい。
委員	「人材がいらない」ではなく、「少ない」としてはどうか。また、25 ページの(1) 2行目について、茨木童子の古くから伝わる「物語」となっているが、これは「伝説」で統一した方がよい。
委員長	修正する。漢字の「茨木童子」は伝説であり、平仮名の「いばらき童子」は商工会議所が作り上げたものという認識でよいか。
委員	30 ページの推進体制について、各主体の役割は書いてはいるが、これら

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	の関わりがわからない。計画を作るのはどこなのか。
委員長	推進委員会は本委員会を指すものである。答申する際に委員会自身がその継続を訴えるのはどうかと思うところもあるが、発言の趣旨に添ってどのような表現が可能か検討する。
委員	31 ページの「各主体の役割」の中の「市民」について、3 行目に「市民と茨木市との…」とあるが、「市民と」の記載は不要であるため、削除する。 20 ページ（1） 1 行目に「高齢者・障害者…」とあるが、高齢者はあまり遠い場所には行くことができない。文化振興の意義は、地域のコミュニティを盛り返すことにもあるので、例えば自治会などに出張して行う文化芸術などがあればよいのではないか。
委員	移動図書館のようなことか。
委員	17 ページ下の公募型事業に応募し採用されたが、予算が少ない。これはもっと予算を確保していただきたい。移動図書館や和太鼓の出張のような費用を見て頂ければありがたい。
委員長	指摘はわかるが、予算等については本委員会の場の役割を超えている。予算に関する意見を汲み取るのであれば、民間資金の活用などについては言及してもよいかもしれない。
委員長	23 ページ（1）の下から4行目、子どもたちの実践したい分野として「音楽、アニメーション、映画」とされており、これはアンケート結果で20%以上回答があったものを挙げているものだろう。ただ、この基準を15%以上として、「美術、写真、演劇」も入れたいがどうか。 パブリックコメントにかける前に集まる機会がないため、修正は事務局と私に任せて頂きたい。今回のご意見も出来る限り汲んで反映する。
	4. その他
事務局	次回の日程は12月19日午後1時からを予定している。会場については南館8階の中会議室である。本日の意見等について委員長と調整の上、パブリックコメントを実施する。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	パブリックコメントについては茨木市の HP に掲載するとともに、文化振興課の窓口で閲覧できるようにする。意見についてはメール、FAX、郵送、直接提出による受け付ける。 パブリックコメント用の素案が完成次第、委員のみなさまには送付させていただきます。 それでは、長時間ありがとうございました。 5. 閉会 以上